



斜網地区廃棄物中間処理施設 町民説明会



本日の流れ



説明会等の実施状況

建設における懸案事項及び地域課題への対応

今後の予定

説明会等の実施状況

美幌町
BIHORO
Since 1923

住民説明会等の実施状況



【開催状況】

令和7年5月9日	全町民を対象とした説明会	(参加者19名)
6月4日	瑞治自治会説明会（第1回）	(参加者11名)
6月23日	瑞治自治会説明会（第2回）	(参加者15名)
7月11日	全町民を対象とした説明会	(参加者39名)
7月12日	全町民を対象とした説明会	(参加者25名)
8月22日	陽光自治会説明会	(参加者8名)
8月27日	美幌ライオンズクラブ例会 講話	(参加者約20名)
8月30日	美芳自治会説明会	(参加者15名)
9月18日	元町自治会 まち育出前講座	(参加者18名)
9月26日	帯広市くりりんセンター町民見学会	(参加者21名)
10月2日	民生・児童委員協議会 まち育出前講座	(参加者44名)
10月29日	報徳南自治会説明会	(参加者3名)
10月30日	瑞治自治会説明会（第3回）	(参加者13名)
11月12日	えんがるクリーンセンター町民見学会	
11月12日	全町民を対象とした説明会	

建設候補地 《美幌町字報徳》

美幌町
BIHORO
Since 1923

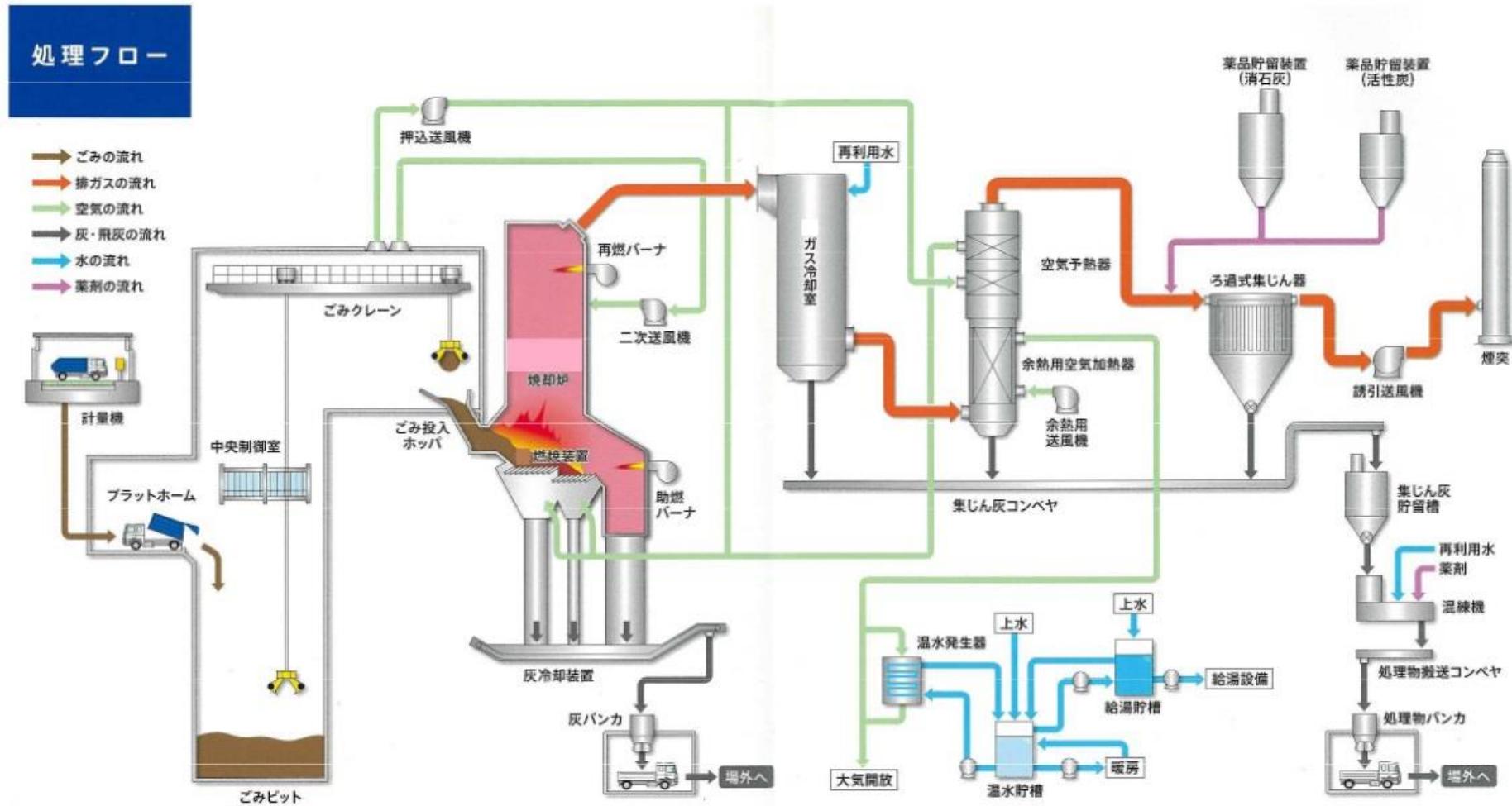
報徳地区下水終末処理場エリア

施設建設候補地

下水終末処理施設
敷地として利用中



一般的な焼却施設のごみ処理の流れ





建設における懸案事項及び地域課題への対応

美幌町
BIHORO
Since 1923

建設における懸案事項及び地域課題への対応



(1) 施設建設による環境影響（騒音・振動・悪臭・水質・大気等）

【質問・意見と回答・対応状況】

①建設後の騒音や車両・施設稼働による振動の懸念。

⇒騒音・振動・悪臭・水質などは「生活環境影響調査」を実施し数値化し、結果は公表予定。

住民影響が出ないよう設計。

②煙・ダイオキシン・収集ごみからの悪臭の懸念。

⇒現代の焼却施設は国の基準を遵守し、煙突からは主に水蒸気を含む浄化済み排ガスを排出。

ごみは850°C以上で焼却しダイオキシン発生を防止。また、バグフィルターで
煤塵・臭気・有害物質を除去。ごみは建物内で受け入れ、
陰圧・エアカーテン・吸引・脱臭設備を導入。

③地下水汚染やCO₂排出、水蒸気中の有害物質の不安。

⇒ごみピットから水が漏れないよう設計。

排気設備に警報装置を備え、基準超過時は自動警報で対応。



建設における懸案事項及び地域課題への対応



(2) 施設立地・安全対策・環境対策・災害対策（浸水・停電）

【質問・意見と回答・対応状況】

- ①候補地報徳地区は美幌川に近く、洪水ハザードマップに該当。浸水リスクあるが対策は。
→浸水リスク（100年に1回：0.5～3m、1000年に1回：3～5m）は認識済み。浸水対策として、盛土・重要機器の上階設置等を検討。
- ②施設敷地内排水や雪捨て場の雪解け水が、瑞治側へ流出することを防止して欲しい。
→堤内排水対策を国（河川事務所）へ要望しており、調査費の計上について前向きに検討するとの回答。
- ③建設候補地付近は木が鬱蒼としており、内部が見えない。環境対策をして欲しい。
→周辺の樹木整備や見通しの改善を検討し、安全性や景観面の配慮を行う。植栽も行い住民が訪れやすい環境整備を検討。
- ④シストセンチュウ対策を講じて欲しい。
→ごみ運搬車両の本町への運搬経路を国道に限定し、また、施設場内に洗車設備を設けることで、シストセンチュウ対策を講ずる。
- ⑤地盤の安定性や、ごみピットが地盤に与える影響が心配。
→地盤調査を実施し、必要に応じ地盤改良を行う。ごみピット設計も地盤への影響を考慮して対応。
- ⑥停電時の施設稼働や安全確保について懸念がある。
→自家発電設備を備え、緊急時に最低限の稼働・安全管理ができる体制を構築。

建設における懸案事項及び地域課題への対応



(3) 処理方式・施設規模・稼働時間

【質問・意見と回答・対応状況】

①24時間稼働ができないと効率が下がるのでは。

⇒24時間稼働は炉の寿命延長と効率の観点から必要。断続稼働は炉に負担。

②生ごみ焼却は燃料費がかさむ。生ごみを分別すべきでは。

⇒美幌町は生ごみの一括焼却を希望。高齢化による分別負担軽減が必要。

③将来の人口減少とごみ減量を見据えた設計が必要。

⇒処理能力は50t/日（大空町東藻琴建設予定時）。2炉方式で25t/日への縮小運転も可能。
発電（バイナリー）や太陽光発電など付帯設備も検討。

④焼却灰を再資源化できないか。

⇒道路材やセメント原料など再資源化の技術を調査調査した結果、灰の成分安定が
課題。道内では渡島地方にメーカーあるが運搬コストが大きい。近隣メーカーで
製作するにはJIS規格適合と多額の投資が必要。

建設における懸案事項及び地域課題への対応



(4) ごみ分別・収集・直接搬入

【質問・意見と回答・対応状況】

①他地域ナンバー車や他市町ごみの持込み懸念。

⇒ 1市5町以外のごみは原則受け入れない。

②分別・収集方法の大きな変更は住民負担の増加へ。

⇒美幌町は戸別収集を継続。直接搬入は美幌町の住民のみとし本人確認を実施。

不燃物ごみ・資源ごみは登栄処分場へ。

③直接搬入時のゲート管理・精算の仕組みが必要。

⇒他市町住民の直接搬入はシストセンチュウ対策のため制限。

④北見市の不燃ごみ処理方式やベルトコンベアによる直接搬入家庭ごみのピット投入は参考にできないか。

⇒北見市の運用方法は参考にしたい。

⑤プラスチックごみ燃料化の可能性。

⇒プラスチックは国のリサイクル方針の影響で焼却利用不可。

⑥モバイルバッテリーによる火災リスクの懸念。

⇒火災防止のため温度監視・スプリンクラー・啓発徹底を実施。

建設における懸案事項及び地域課題への対応



(5) 交通量増加と道路整備

【質問・意見と回答・対応状況】

①国道沿いで交通量が多く渋滞や事故が懸念。他市町から何台来るのか。

信号や車線整備が必要では。

→東藻琴が建設予定地の際は1日約40台と予測。美幌町での再集計を実施。

信号や車線整備に関しては必要に応じ国へ要望。

②朝の通勤時間帯の混雑が心配。

→時間差搬入を検討。他市町からのごみは集積所（ストックヤード）にまとめ、大型車で搬入することで運搬回数の削減を検討。

③農道通行を避けて欲しい。

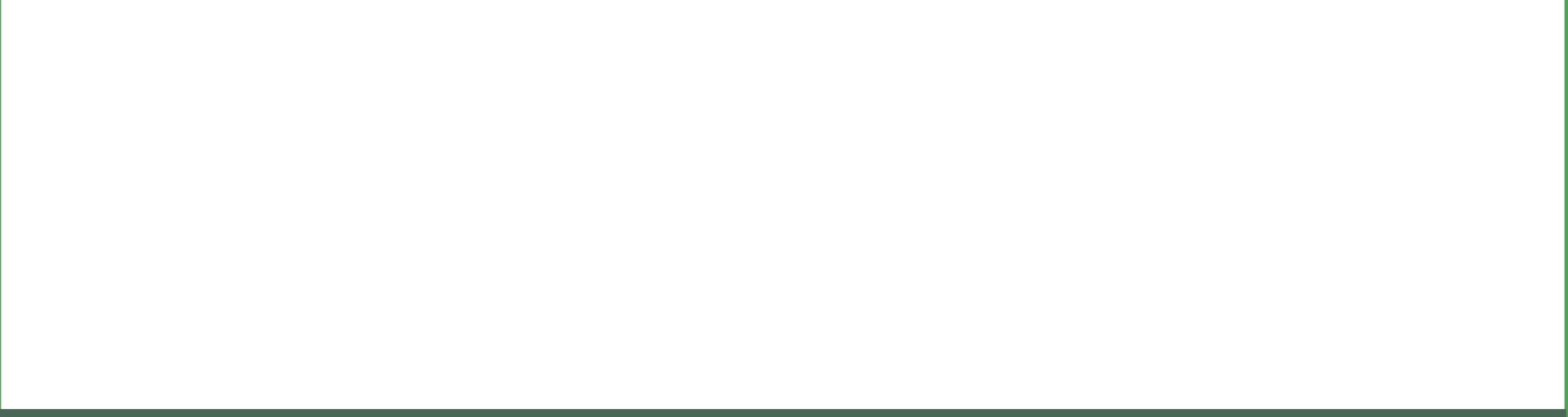
→農道通行は禁止し、国道ルートに限定。通勤時間帯を避ける運行を調整。

(6) 地域振興・余熱利用・付帯設備

【質問・意見と回答・対応状況】

①煙突展望台や余熱利用で町民還元を。温浴施設や福利厚生施設、雪処理などへの活用。

→他自治体の事例を参考に環境学習施設を中心とした付帯設備を検討。公共施設の暖房や余熱利用など地域還元の可能性を検討。また、施設見学者が敷地内で憩える環境整備を検討。（植樹・芝生・ベンチ等）。

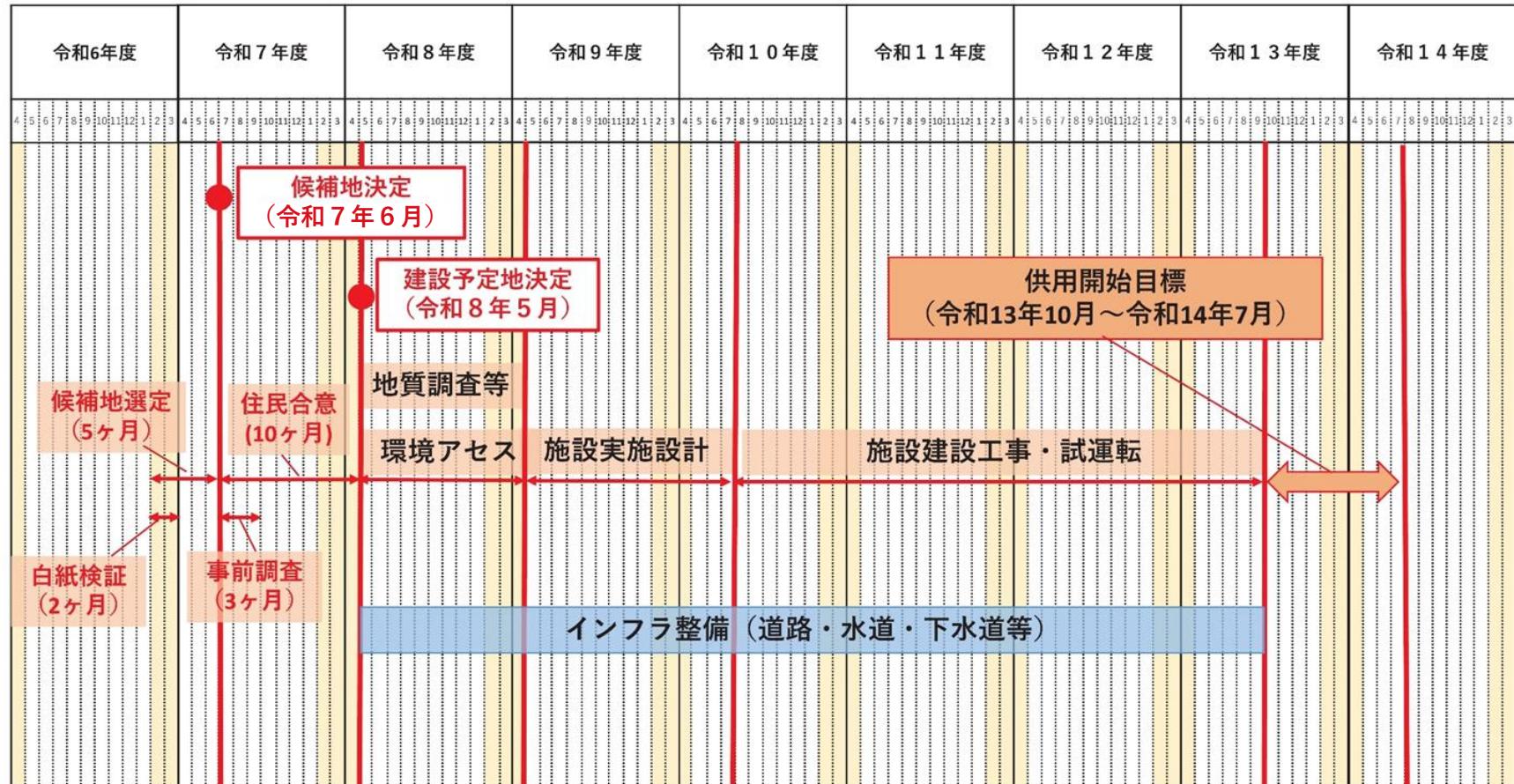


今後の予定

美幌町
BIHORO
Since 1923

今後のスケジュール

○広域廃棄物中間処理施設 建設スケジュール（案）



※住民合意は仮で10ヶ月としており、長くなれば供用開始は遅れ、短くなれば供用開始は早まる